特集 持続可能な社会指標を考える

国際開発の方向性を表す主観的指標
～ブータンの国民総幸福

大隈大学グローバル研究フルコースセンター助教授
草嶋 茂好さん

国際開発の方向性を表す主観的指標
～ブータンの国民総幸福～

ブータン政府は、ブータン・開発指標(BDI)を、第10次開発計画の中で組み込んでいくことに
するのである。

さて、このブータンでは「幸せな人生であるための欠かせ
ないことは何か?」という質問
がありました。この質問に対し、
第1位に輝いたのは「フィナンシャル・セキュリティ」でした。
ブータン政府も、この結果に対
して、まきおが1位に来ると
は思わなかったと感じたという意
外国人の歩き方です。

しかし、2番目、3番目では家族、
健康と、日本人と大きく変わらな
いように思います。ただし、7番
目に信仰心というのがありますが、
ベトナム教に限って生活してい
ている人たちなので、信仰の面か
心の平静が重要であることを示す
のがないと言えます。また、14番
目に国際のことが見えています。
国際がこのような平和なブータンを
つくってくれたので私たちは幸
福だということもでしょう。

第3国GNI国際会議の開催

GNI国際会議は、第1回目が
ブータンで2004年2月にCBS
が主催して行われました。2007年
11月にタイで開催された第3回の
会議では、タイの首相とブータン
首相のほか、20ヵ国から約500
人が集まりました。

第3回GNI国際会議の場で
ブータンのGNIインデックスの
発表が期待されていたのですが、
発表は見逃されてしまいました。でき
ていないという人が正式なと
ころで申し上げます。実際、国際母
なる指標の発表を目指していた
かもしれませんが、その活動が果
たしてブータンにメリットがある
のかどうか考え、結論として国
際標準指標の開発よりブータン
の国ごく近くに必要とされる
指標を作ることを選択し、将来、
ブータンの指標を参考にしながら
他国のデータもGNIインデックスを
個別に作っていく方向をとること
を決めたのです。

ブータンにおける人生の満足度

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>本調査</th>
<th>会計調査</th>
<th>余暇活動</th>
<th>余暇生活</th>
<th>余暇活動がない</th>
<th>海外旅行</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>56.0%</td>
<td>198</td>
<td>34.0%</td>
<td>119</td>
<td>5.4%</td>
<td>19</td>
<td>3.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>39.4%</td>
<td>138</td>
<td>40.9%</td>
<td>143</td>
<td>13.4%</td>
<td>47</td>
<td>5.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>62.9%</td>
<td>220</td>
<td>26.9%</td>
<td>94</td>
<td>6.0%</td>
<td>21</td>
<td>1.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>86.6%</td>
<td>303</td>
<td>10.3%</td>
<td>36</td>
<td>2.3%</td>
<td>8</td>
<td>0.3%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

幸福度合い

【%】

 Boulder: "retain this

幸福度合い

【%】

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

と

とても幸せ

とても幸せ